

(3) 平成 29 年度先輩教師の講話会報告

第 25 回となる「先輩講師の講話会&交流会」が、4 月 22 日（土）に開催された。参加者は 66 名であり、教職課程を履修している多くの学生が参加した。また、参加して下さった先輩教師は次の通りである。

板橋 史明 先生	(日々輝学園高等学校・宇都宮キャンパス)	
伊藤 洋介 先生	(栃木県立高根沢高等学校、真岡北陵高等学校)	
大山 晃 先生	(栃木県総合教育センター・研究調査部)	
小田 哲平 先生	(宇都宮市立白沢小学校)	
小林 絵梨香 先生	(矢板市立片岡小学校)	
諏訪 佳恵 先生	(栃木県立真岡北陵高等学校)	
手塚 清美 先生	(栃木県立国分寺特別支援学校)	
福田 遥 先生	(宇都宮市立国本小学校)	(50 音順)

時間に限りがあることから、講話会では、大山晃先生、小林絵梨香先生、福田遥先生の 3 名の先生方から、教師という職業の魅力、教育実習の心構え、教員採用試験に向けての勉強の仕方など、多岐にわたる事柄についてお話しいただいた。また、講話会でご講話頂けなかった先生方には、交流会の際に学生たちと様々なお話をいただいた。

また、本年度は、特別に、山岸美智明先生（作新学院高等学校・前総合進学部長）、河野良治先生（筑波大学・国際産学連携本部）にもご参加いただいた。山岸先生は、1 期生の山岸（旧姓中山）明子先生（作新学院高等学校）のご夫君にあたり、高大連携で長年、お世話になった方である。また、河野先生は、本学の教職課程を修了後、研究職の道を歩まれ大学職に就かれている方である。

学生たちからは、「更に教師になりたい、担任を持ちたいと思いました。教師の魅力を深く知ることができてうれしかったです」（3 年女子）、「自分の教師に対する考えが変わりました。まず私は教員に対して堅苦しいイメージを持っていましたが、先輩方が『楽しい』や『充実している』などプラスの発言が多く、より教師になりたいと思いました」（1 年男子）、「現場に出ている先生方のお話はとてもリアルで、自分のためになるお話ばかりでした。特に教員採用試験対策のお話は、現役合格した先生の勉強がもうすごすぎて、私にそんなストイックな勉強ができるのかと、正直不安になりました」（2 年女子）など、様々な意見が寄せられ、実に有意義な時間となった。

この会も第 25 回を数え、1 期生が新任教師として参加した第 1 回の講話会から、実に四半世紀に渡り、途切れることなく継続してきたことに深い感慨を覚えるとともに、今後ともより充実した会にしていきたいとの思いにかられるばかりである。